

5 . 地区別計画

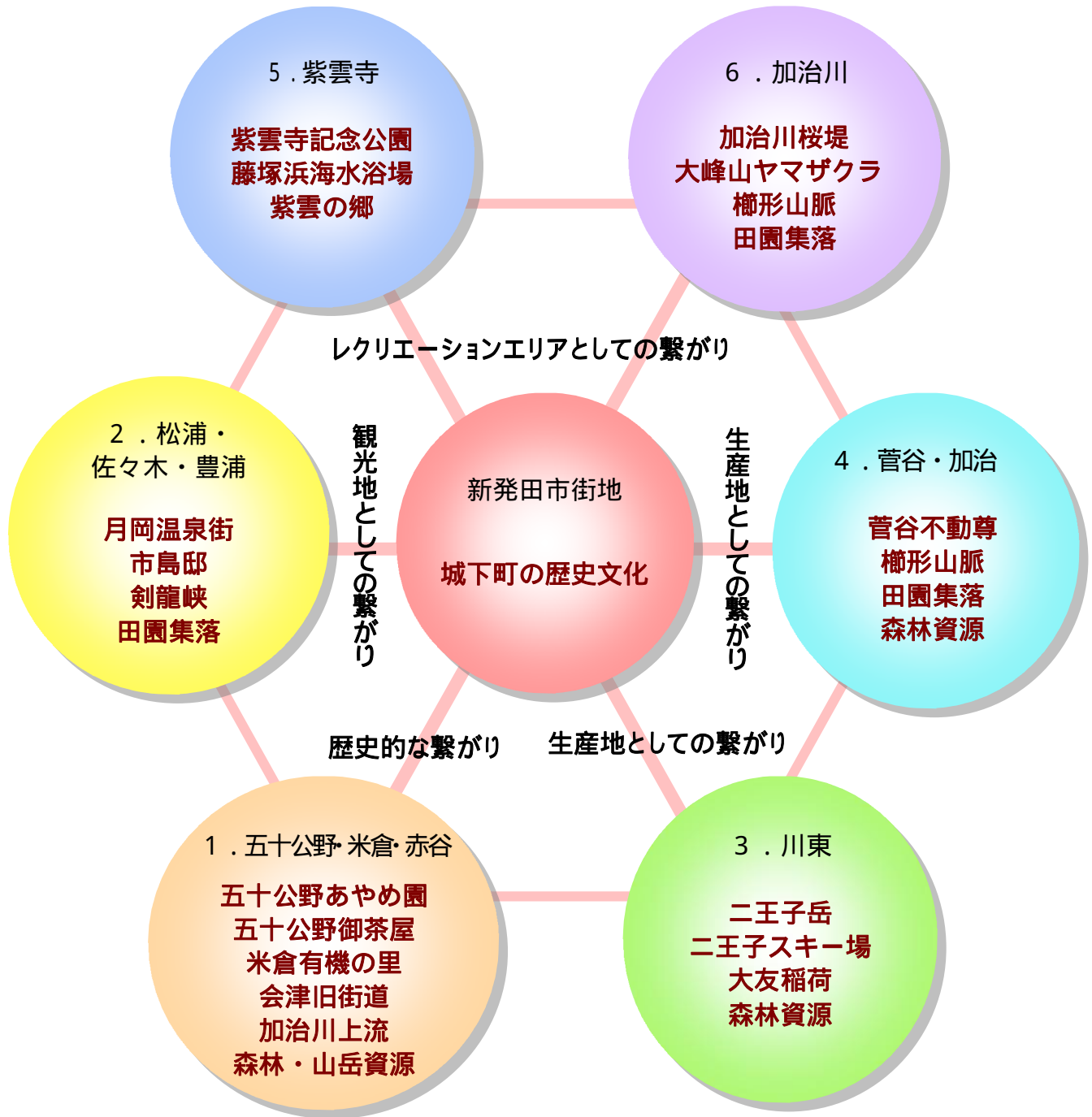
地区区分

新発田市街地を中心に6つの地区区分を設定し、それぞれ施策を展開していきます。



地区区分	各地区の特性
新発田市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・新発田市の中心地であり、交通・商業など都市機能が集積 ・新発田城や寺町など城下町としての歴史的資源が多い
1. 五十公野・米倉・赤谷	<ul style="list-style-type: none"> ・新発田藩と関わる五十公野と加治川流域、会津街道沿いの中山間集落 ・歴史資源、自然資源が豊富
2. 松浦・佐々木・豊浦	<ul style="list-style-type: none"> ・新発田市街地と県都新潟市に隣接した農業地域 ・月岡温泉街
3. 川東	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地東部に位置、二王子岳はじめ、姫田川扇状地に広がる農業地 ・二王子岳、スキー場、温泉、牧場、大友稻荷などの資源が分布
4. 菅谷・加治	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛形山脈東を流れる板井川や国道290号を軸とする中山間集落 ・菅谷不動尊、りんご園はじめ、多くの自然資源が分布
5. 紫雲寺	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海と海岸沿いの旧街道(新潟新発田村上線)に伸びる集落地 ・県立紫雲寺記念公園の海洋性レクリエーション
6. 加治川	<ul style="list-style-type: none"> ・国道7号、羽越本線沿いの村落、加治川の扇状地に広がる穀倉地帯 ・コシヒカリ産地、加治川桜堤や大峰山ヤマザクラなど桜の名所が多い

新発田市の観光エリアと観光資源の結び付き



(1) 五十公野・米倉・赤谷地区

地域特性

主な観光資源

- ・新発田市の歴史を残す五十公野の里（五十公野御茶屋、旧県知事公舎など）
- ・市民の憩いの場である五十公野公園（あやめ園、升潟、森林館など）
- ・新発田藩と会津藩を結ぶ街道集落（山内等の関所跡など）
- ・サイクリング・ロードと内の倉湖畔公園や滝谷森林公園
- ・加治川（飯豊川）の渓流や焼峰山の登山コース

地区観光の課題

- ・市街地からの交通アクセスの充実
- ・五十公野集落及び会津街道の景観形成（まち並み景観の形成）
- ・近接する月岡温泉との連携（温泉客に対し歴史的環境への誘い）
- ・赤谷地区などの自然環境の活用（自然レクリエーションへの誘導）

観光振興の基本的な方針

1. 集落活性化の先導モデルである「米倉有機の里構想」の推進と市内他地域への展開
2. 中心市街地と連携した城下町からの誘客
3. 五十公野の里や会津街道などの地域資源の有効活用と新たな宝の発掘

方針と実施メニュー

方針1:米倉有機の里構想の推進と市内横断的展開

- ・有機農業による米倉ブランドの確立と販売PR
- ・交流施設、交流センターを活用した情報の発信、展示、販売、交流の展開
- ・地域住民の一層の理解と主体的行動の促進

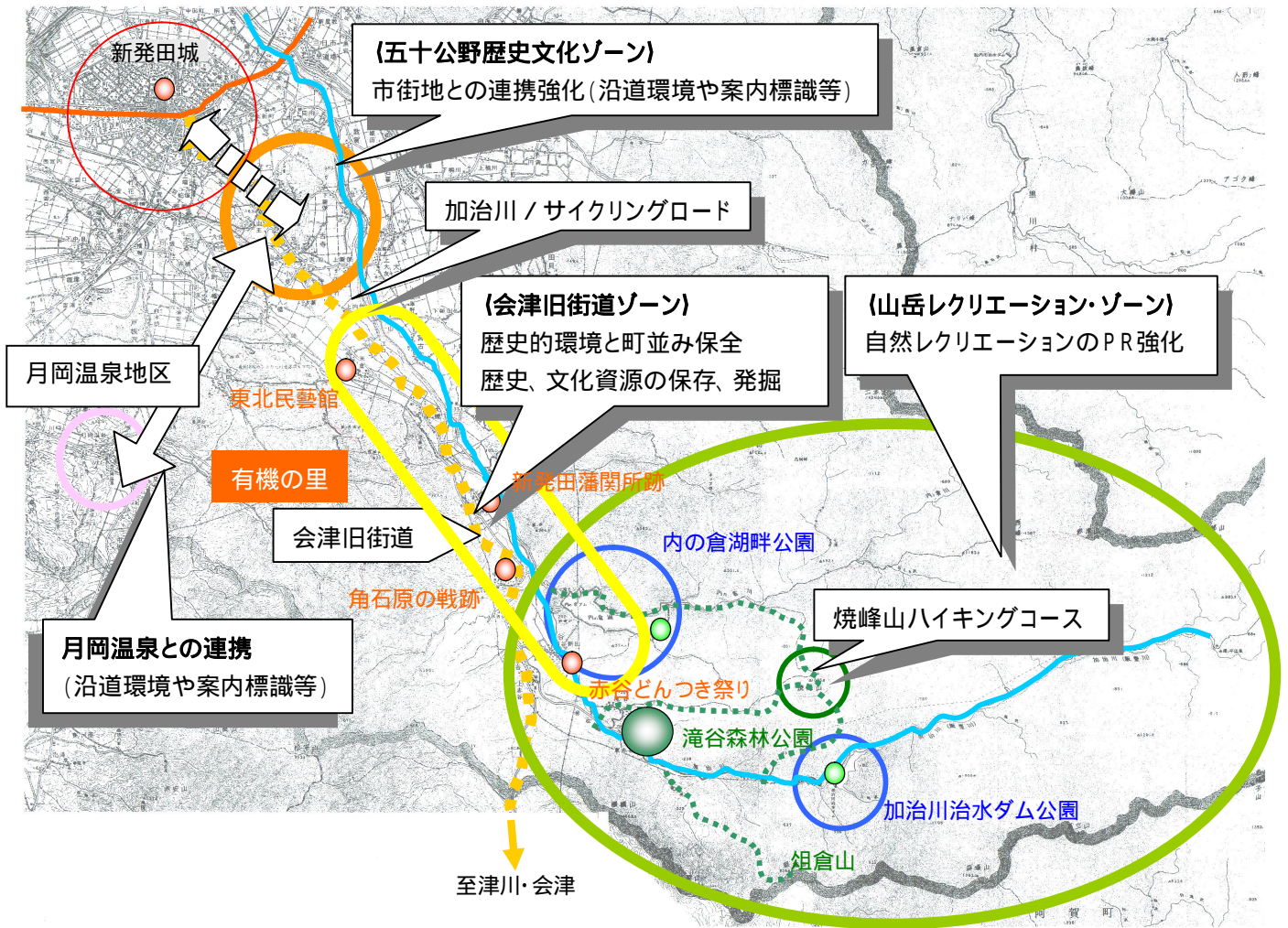
方針2:城下町新発田市街地及び月岡温泉との連携

- ・市街地及び月岡温泉からのアクセス環境の改善（沿道環境や案内標識等）
- ・連携を支援する効果的交通サービスの整備（シャトルタクシー等）

方針3:地域資源の有効活用と新たな宝の発掘

- ・地域の歴史、文化資源の保存と発掘（津川や会津との連携）
- ・五十公野や会津街道など町並み保全・景観形成
- ・地域の豊かな自然環境を紹介と自然レクリエーションの楽しさのPR強化

加治川と旧街道が結ぶ歴史・文化と自然探勝の観光エリア



(2) 松浦・佐々木・豊浦地区

地域特性

主な観光資源

- ・月岡温泉街
- ・美人の泉(豊浦)、城山温泉(松浦)、天神の湯(佐々木)
- ・カリオンパーク(カリオン文化館、手づくりガラスびいどろ、ほうづきの里)
- ・市島邸、薬師堂、太子堂(佐々木)
- ・剣龍峡、福島潟(豊栄)

地区観光の課題

- ・中心市街地との連携
(観光アクティビティ*の改善)
- ・玄関口(アクセススポット)の整備
(聖籠新発田ICや羽越本線月岡駅)
- ・月岡温泉を中心とした地区内観光レクリエーションの活性化
(月岡温泉街の街並み形成と福島潟から剣龍峡までの一体化)
- ・市街地からの交通アクセスの充実

観光振興の基本的な方針

1. 玄関口としてのアクセス環境の整備
2. 「城下町新発田市街地」や「五十公野の里」地区との連携
3. 月岡温泉街を拠点とした広域観光ネットワークの形成

方針と実施メニュー

方針1: 市街地や五十公野とのアクセス環境の整備

- ・アクセススポット(聖籠新発田IC、羽越本線月岡駅周辺)の整備(修景・標識設置等)
- ・国道460号、国道290号のアクセス環境の改善(案内標識等の設置)
- ・中心市街地とのシャトルバスや回遊タクシー等顧客ニーズに応じた交通サービスの検討

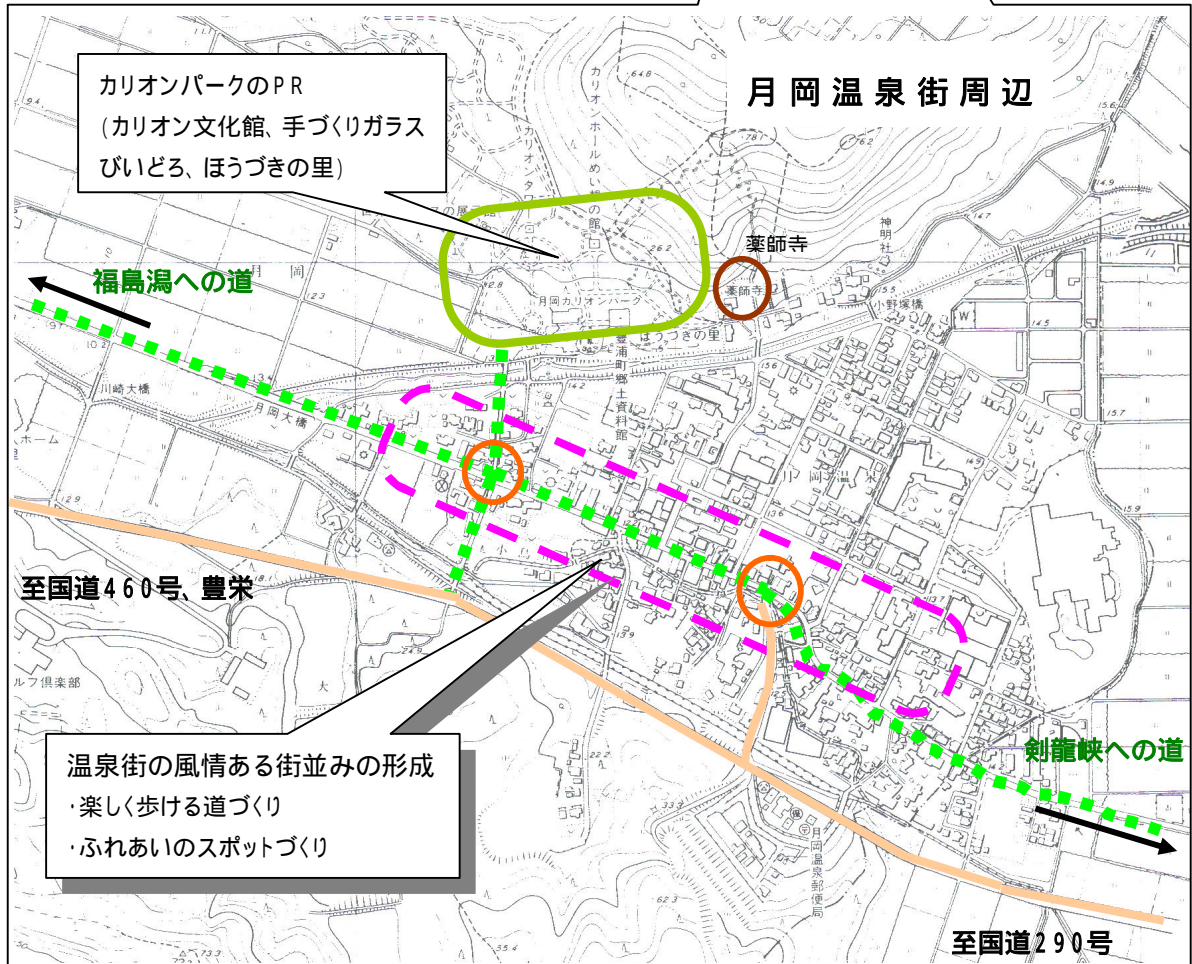
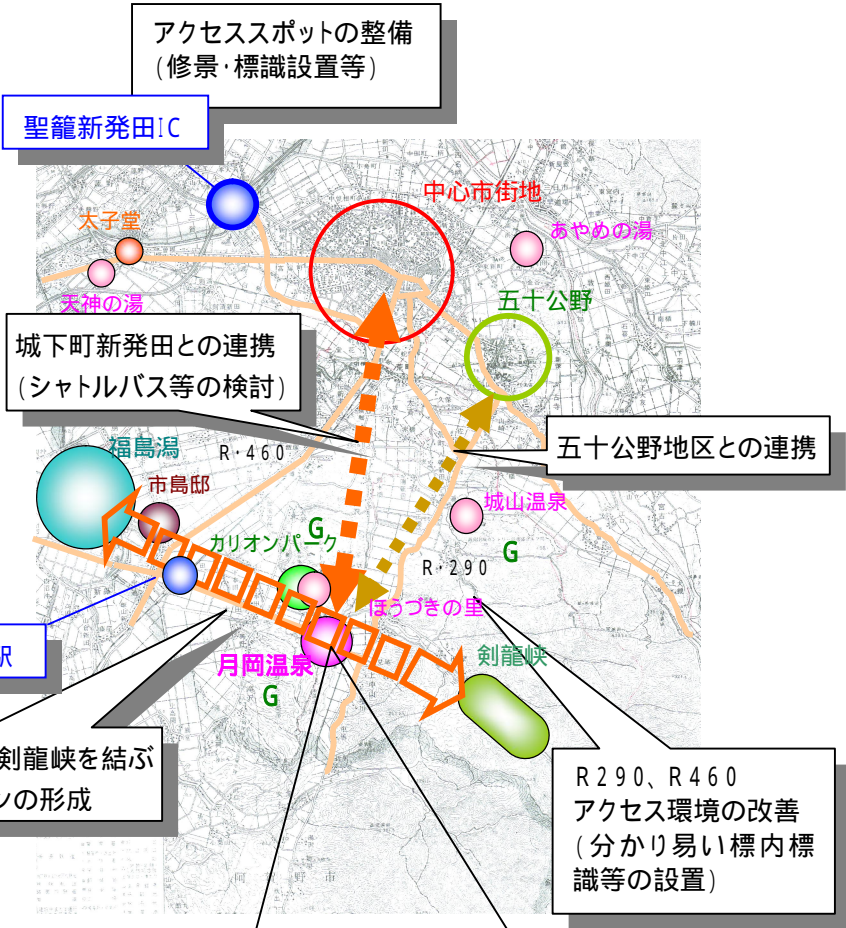
方針2: 月岡温泉街を拠点とした広域観光ネットワークの形成

- ・月岡温泉の街並みづくりと周辺観光エリアの充実
- ・福島潟・市島邸・月岡温泉・カリオンパーク・剣龍峡の一体的なPRと活用
- ・月岡温泉周辺に広がる田園集落の観光資源としての活用策の検討

方針3: 新たな観光資源の発掘

- ・ゾーン内に潜在する活用可能な観光資源の発掘と効率的な連携活用策の検討

* 観光アクティビティ...観光行動における活動範囲



(3) 川東地区

地域特性

主な観光資源

- ・大友稲荷、二王子神社
- ・二王子スパーク温泉
- ・NINOXスキー場
- ・板山放牧場
- ・二王子岳登山コース
- ・その他森林資源

地区観光の課題

- ・山間地の村落環境を活かした観光メニューづくりが必要
- ・市街地からの交通アクセスの充実
- ・幾筋かの水系を活用した散策ルートの整備
- ・温泉施設、スキー場など既存資源のPR

観光振興の基本的な方針

1. 身近なスキーリゾートNINOXスキー場の有効活用
2. 「地域資源活用地域」の土地利用整備を踏まえた観光振興策の展開
 - * 「地域資源活用地域」：食料供給都市構想における位置付け
3. 広域農道や水系を活用した回遊性のある観光ルートの整備

方針と実施メニュー

方針1 二王子スキー場の有効活用

- ・新発田や新潟市民を対象とした身近なスキー場としての機能充実
- ・NINOXブランドのイメージ向上とPR
- ・韓国、中国等東アジアからの観光客に対応したサービスや案内システム充実

方針2 地域の特性を活かしたグリーンツーリズム*の展開

- ・林縁部における観光体験農業の推進
- ・板山放牧場の活用案の検討

方針3 広域農道等のアクセス環境の整備

- ・観光ルートとしての整備（案内標識や休憩機能等の設置）

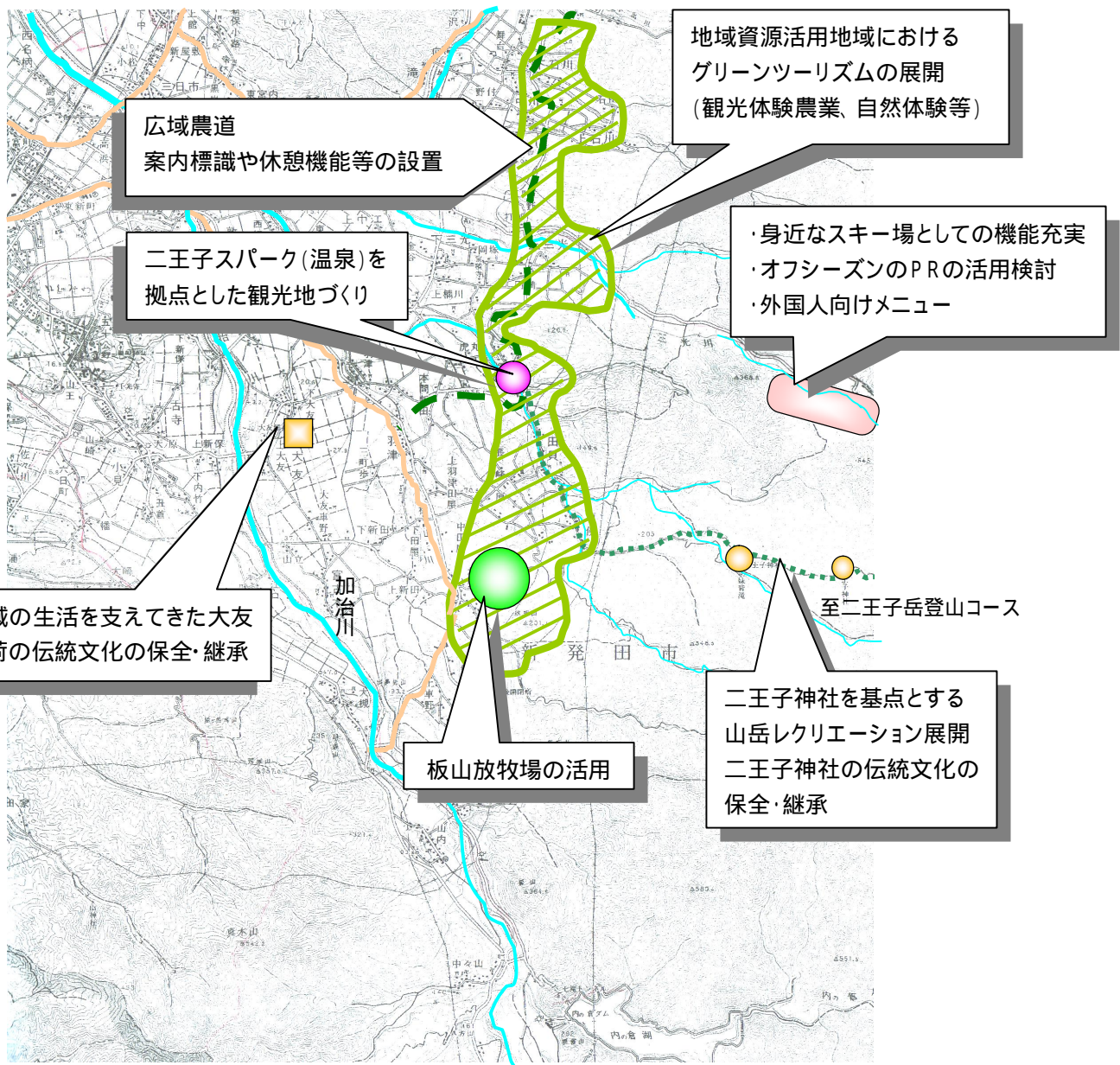
方針4 既存資源の活用と地域資源の発掘（観光メニューづくり）

- ・二王子温泉の拠点化やシーズンオフのスキー場の活用案検討
- ・大友稲荷、二王子神社等の伝統文化の保存・継承
- ・二王子登山等山岳レクリエーションの展開

*グリーンツーリズム...農村の自然・生活・文化を広く開放し都市との交流により地域振興を図っていく方策



菅谷地区との一体化



(4) 菅谷・加治地区

地域特性

主な観光資源

- ・菅谷不動尊
- ・櫛形山脈、大峰山
- ・米沢街道と沿道の集落
- ・りんご園
- ・その他森林資源

地区観光の課題

- ・市街地からの交通アクセスの充実
- ・中山間地域の村落環境を活かした観光メニューづくりが必要
- ・りんご園を活かした地域のPRが必要
- ・大峰山や櫛形山脈への行楽誘導
- ・街道集落の環境保全と景観形成

観光振興の基本的な方針

1. 菅谷不動尊周辺の観光環境の整備
2. 「地域資源活用地域」の土地利用整備を踏まえた観光振興
3. 市街地からの交通アクセスの充実
4. 既存観光資源の活用と新たな宝の発掘

方針と実施メニュー

方針1：菅谷不動尊周辺の観光環境の整備

- ・周辺部の魅力ある景観形成

方針2：地域の特性を活かしたグリーンツーリズムの展開

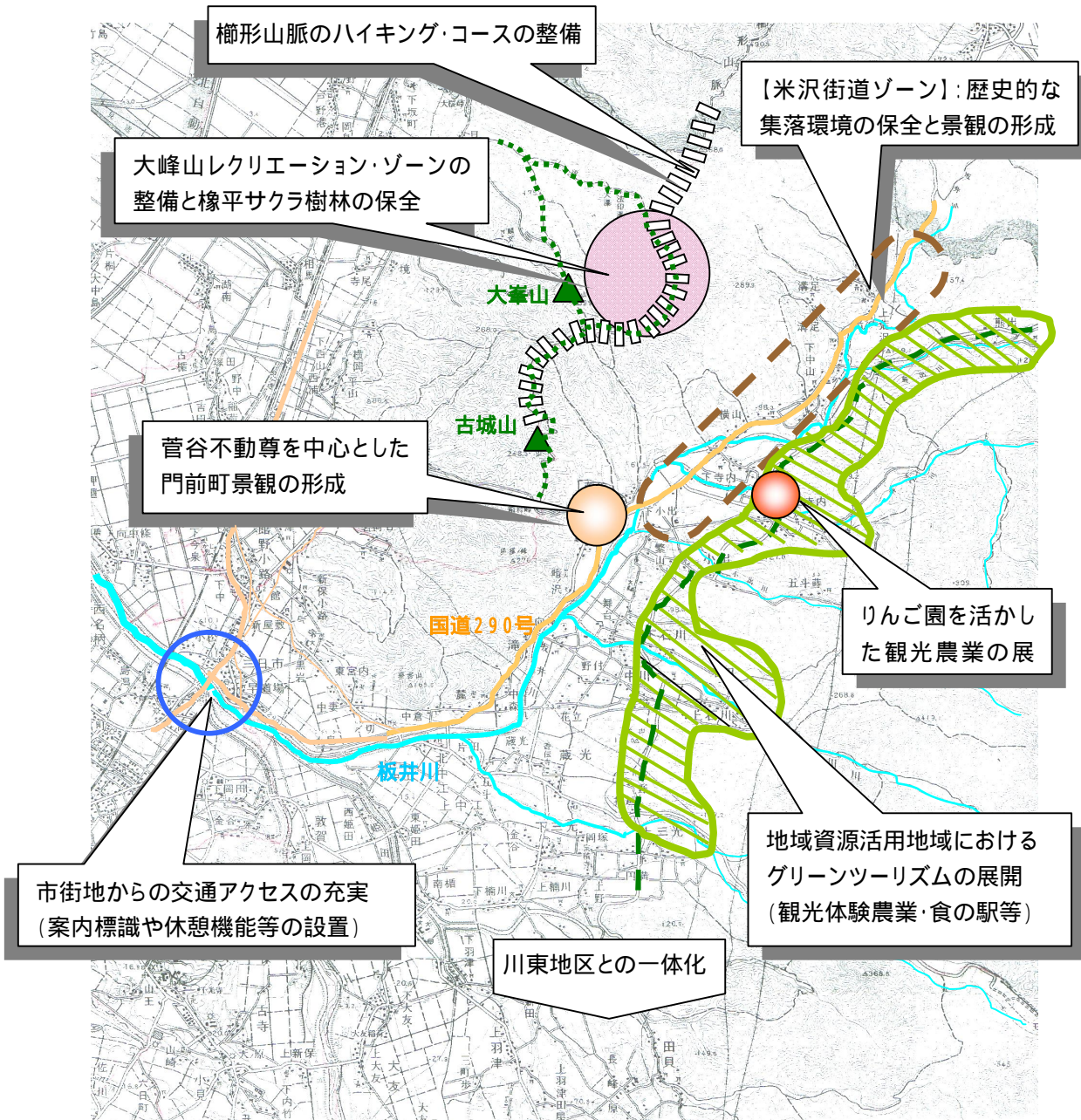
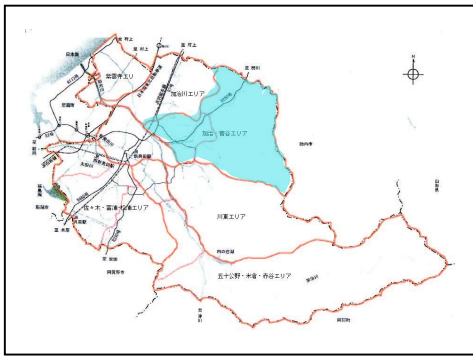
- ・林縁部における観光体験農業の推進
- ・りんご園を活用した農村レクリエーションの展開

方針3：広域農道等のアクセス環境の整備

- ・観光ルートとしての整備（案内標識や休憩機能等の設置）
- ・案内標識等による分かりやすいアクセスの誘導（関川や米沢との連携）

方針4：米沢街道の活用

- ・米沢街道沿いの集落保全と景観の形成



(5) 紫雲寺地区

地域特性

主な観光資源

- ・ 県立紫雲寺記念公園
(さえずりの森、紫雲の郷(温泉施設)、多目的広場、オートキャンプ場)
- ・ 藤塚浜海水浴場
- ・ 松塚漁港
- ・ 清瀨(自然生物の生息地)
- ・ 紫雲寺とレンギョウ街道
- ・ 加治川の桜堤
- ・ 漁村民族資料館やレンギョウモニュメントなど

地区観光の課題

- ・ 市街地からの交通アクセスの充実
- ・ レンギョウ街道の歩行空間の整備
- ・ 海洋レクリエーションの推進
- ・ 松塚漁港の有効活用
- ・ 歴史・文化的な環境の整備
(地域の独自性の継承)

観光振興の基本的な方針

1. 海洋レクリエーションの充実
2. 紫雲の郷を中心としたイベントや「食事業」の展開
3. 花や野鳥・歴史をテーマとした観光のまちづくり
4. アクセス及び交通環境の改善

方針と実施メニュー

方針1：海洋レクリエーションの充実

- ・ 海浜レクリエーション機能の充実とPR
- ・ 海浜を利用したイベントの開催
- ・ 紫雲の郷の有効活用

方針2：松塚漁港の活用とブルーツーリズム*の展開

- ・ 松塚漁港を活用した漁業の振興と観光漁業の推進(海の「食」の普及)

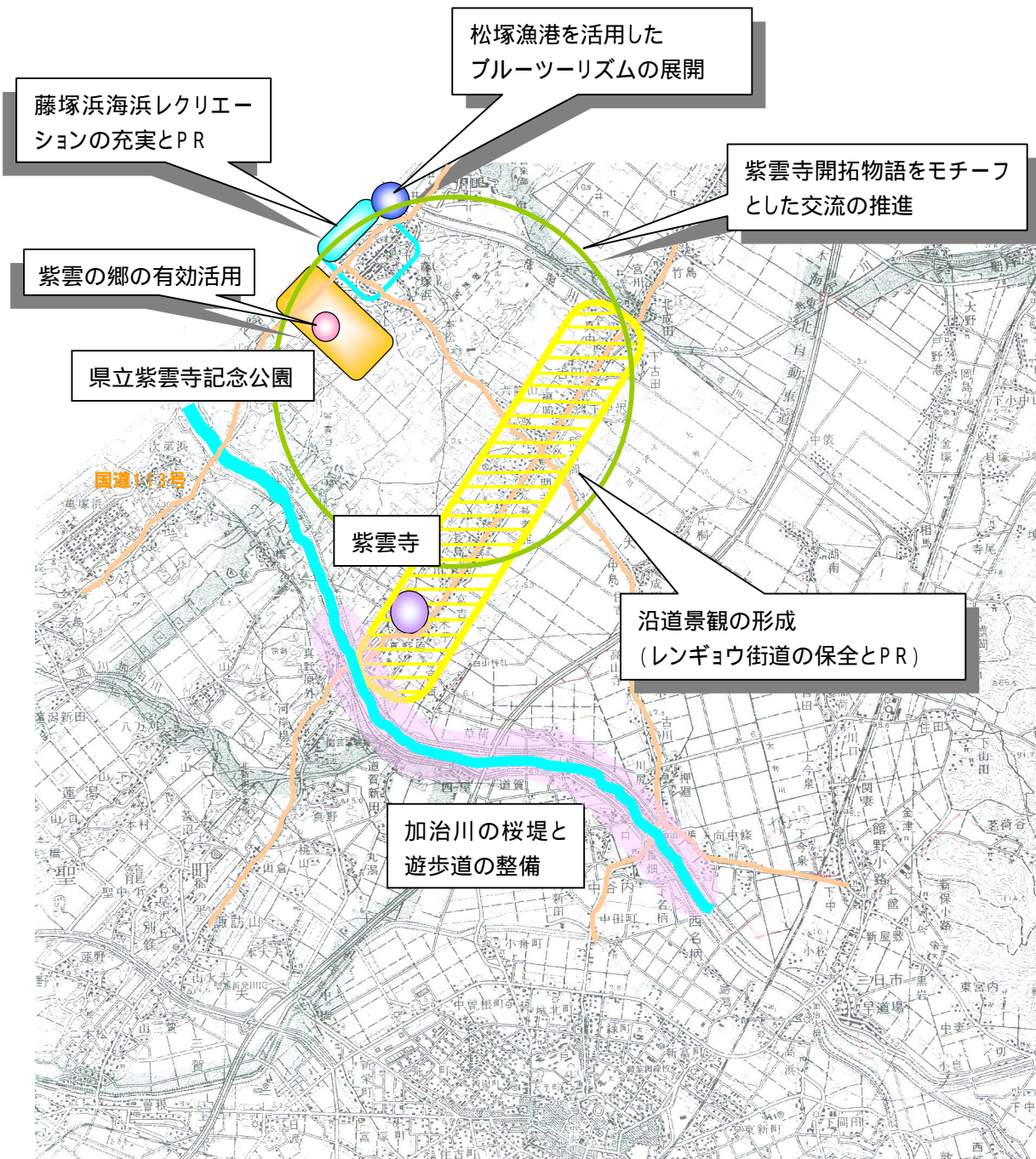
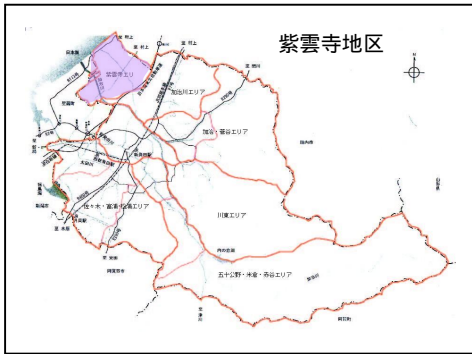
方針3：自然・歴史資源の活用

- ・ レンギョウ街道の沿道景観の充実
- ・ 桜堤遊歩道の活用
- ・ 野鳥をテーマにした自然観察、体験メニューの充実
- ・ 紫雲寺瀧干拓物語をモチーフとした交流づくりの推進
- ・ 観光資源の発掘と案内・展示・交流機能の充実

方針4：アクセス環境の整備

- ・ 新発田市街地とを結ぶアクセス道路の改善

*ブルーツーリズム...漁村の自然・生活・文化を広く開放し都市との交流により地域振興を図っていく方策



(6) 加治川地区

地域特性

主な観光資源

- ・加治川の桜堤
- ・桜公園、大峰山椽平ヤマザクラ
- ・貝屋温泉（さくらの湯）
- ・道の駅「加治川」
（特産品等の販売所）
- ・金塚、貝塚、貝屋、金山の遺跡
- ・田園集落

地区観光の課題

- ・市街地からの交通アクセスの充実
- ・自然資源観光地としての魅力の改善
- ・加治川桜堤の活用
- ・国道7号の拠点整備（拠点性の欠如）
- ・田園景観の保全と活用
（散居的な集落や背景の山々の眺望）
- ・遺跡の保存と活用
（縄文遺跡や奥山荘の城館遺跡等）

観光振興の基本的な方針

1. 加治川桜堤を活かした集客と市民参画のまちづくり
2. 天然記念物椽平ヤマザクラ等“桜の郷”としての環境整備とPR
3. 自然環境と古代、中世の遺跡を活かした観光のまちづくり
4. 観光の拠点づくり

方針と実施メニュー

方針1：加治川桜堤の活用

- ・桜堤環境の整備充実（ハード整備、市民参加の更なる発展に向けた仕組み）
- ・桜堤についての情報発信とPRの推進

方針2：櫛形山脈の自然と歴史の活用

- ・大峰山ハイキングコースの充実
- ・地区の自然や歴史に関する案内・解説板の充実、遺跡公園整備の推進
- ・資源の発掘、再発見と案内・展示・交流機能の充実

方針3：田園景観の保全と活用

- ・田園と調和した景観スポットの配置
- ・箱岩や茗荷谷における献上米のPR
- ・ホタルの里のPR

方針4：観光の拠点づくり

- ・「道の駅」における交流機能の充実



縄文時代の遺構から平安時代の奥山荘に至る遺跡の散布地
(案内・解説板の充実、遺跡公園の整備)

道の駅「加治川」を拠点とした
地区観光のPR強化

貝屋温泉(さくらの湯)

桜公園

田園景観の保全エリア

国道7号

大峰山ハイキングコースの整備
と椽平サクラ樹林の保全

献上米産地のPR

ホテルの里(住田地区)

加治川の桜堤

